

新たな年間10億円有余の恒久財源 確保に向けた諸施策の導入

齋藤 詔治

(問) 私たち市議は、市が行う予算決算の歳入、歳出チェックも重要な責務ですが、地方の自立が急務の今日、新たな市税「恒久財源」確保に知恵を絞り、汗をかく努力も重要な議員活動です。吉川市で今計画されている多くの事業等を速やかに実施し、完成することにより、10億円有余の財源確保が叶うと考えますが。

(答)市長 今後第5次吉川市総合振興計画に位置づけた事業を推進する為の努力をして参ります。

(問) 市民の税金を新たなまちづくり投入する事は、絶対になりません、積極的に民間活力を導入すべきです。

(答)市長 事業実施には、民間活力の導入も含め個々の特性に応じた、最適な手法を選択して参ります。

◆(仮称)第四中学校建設の 早期開校予定の決定を

(問) 美南小・中曾根小の生徒達が南中への登下校通学に

自転車利用者が多い。自転車による交通事故等を考慮し、一日も早い建設を。

(答)教育長 今後教室不足が見込まれますが、数年間は仮設校舎での対応が可能です。建設時期は、生徒数の把握に努め決定して参ります。

◆道路側溝清掃の現状は

(問) 多くの側溝に、汚泥や砂利等の堆積が見られます。市が行う、清掃処理基準は。

(答)都市建設部長 排水路清掃処理要領並びに排水路清掃基準にて実施しています。

跡地はエコのモデル タウンに

伊藤 正勝

(問) 吉川美南駅開業に続いてこの秋には武操跡地が一括売却される。この跡地をエコ・防災のモデルタウンにする。売却の際の条件にすることはできないか。

(答)市長 売り主の運輸施設支援機構では跡地の精算については最高落札価格者を落札者とすることを定めており、条件をつけることは難

吉川橋架け替え工事に関する 進捗状況について

加藤 克明

(問) 吉川橋架け替え工事に関する進捗状況について。

(答)市長 平成24年3月末での用地買収は、5千600平方メートルのうち、約2千370平方メートル、物件補償については、40件のうち17件が済んでおり、約40%の進捗状況、今後は、必要な用地を優先的に取得していくと県から聞いている。

(問) ①吉川橋から吉川交番交差点までの無電柱化について。

②橋桁部分を空洞化し、公園等の施設整備をする事について。

③橋の欄干と道路照明灯には歴史ある吉川市の特色を盛り込む事について。

(答)市長 一括して答えます。平成22年12月16日に、地元4自治会から埼玉県知事に要望書を提出し、さらに、平成23年3月議会において、請願が提出、採択されています。県からは、地元の要望を踏まえ橋梁取り付け部の景観計

画の策定を行っていく予定と聞いている。当市としても、引き続き早期完成の要望を行い、地元の要望についても、県と協議し、調整を図っていく。

(問) 橋際に船着き場を設置し、船運の利用ができるようにすることについて。

(答)都市建設部長 緊急・水上交通・観光用など想定される事から、河川管理者の江戸川河川事務所では、場所や構造に課題がある為、今後、研究していくとの事。



吉川橋